

令和7年度 教育行政執行方針概要



教育長 三浦 剛

3月6日に開会された第1回定例会で、三浦教育長が令和7年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

沼田町教育委員会では、中長期的な展望に立つて教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和14年度までの10年間の計画期間として「第2期沼田町総合教育計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいるところであり、沼田学園における一貫・連携教育を柱として「ふるさと沼田を愛し、自ら進んでたくましく郷土の発展に寄与する子」をめざす子ども像としながら全ての町民が令和の日本社会に根差した、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福感を育むことを目指して、教育施策を展開してまいります。

○「沼田学園」における 一貫・連携教育の推進

開園8年目を迎える「沼田学園」については、継続して中学校の教職員が小学校に乗り入れ授業を行うなど、沼田学園9年間を見通した学習指導に生かすことで、児童生徒の学力向上や中学校生活への円滑な接続に向けて取り組みを進めるとともに、教職員の指導力向上に資するため、「教育講演会」を開催するなど、児童生徒が主体的に学ぶ指導方法や一人一人の学力を伸ばす授業スタイル（沼田スタイル）を全教職員で組織的に取り組んでまいります。

幼児教育については、「子ども子育て」と「保育・教育」という視点から、福祉や子育て関係機関との情報交換を通して繋がりを深めながら沼田認定こども園と沼田小学校との幼小接続に関して、望ましい交流や引き継ぎの在り方、組織体制づくりなどの促進を図ってまいります。

○学力向上対策と 特色ある学びの推進

全国学力・学習状況調査やNRT標準学力検査の検証を行いながら、「主体的・対話的で深い学びの実現」を基本に、学力三要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」をより伸ばすための授業力向上と授業改善に取り組んでまいります。また、あらゆる学びに繋がる「読解力」や「語彙力」の向上として、読書習慣の定着を一層推進するため、学校図書室の環境整備（システム化）を図るとともに、「生きた英語力」・「使える英会話力」によって、国際社会をたくましく生きる人財を育成するため、幼少期から英語教育に触れる機会を創出するなど、特色ある学びを推進してまいります。

○国際交流と青少年交流

国際交流については、カナダ・ポートハーディ地区へ、中学生に加え高校生などを派遣する予定であります。子どもたちが国際社会で活躍できる人財へと繋げていくため、外国語指導の専門職員がネイティブ講師となってサポートし「使える英会話力」を少しでも身に

つけていただきながら、更に充実した国際姉妹都市交流となるよう取り組んでまいります。

また、第33回目となる小矢部市・沼田町青少年交流事業については、小矢部市津沢中学校へ訪問することになっており、歴史・伝統文化の理解と交流によって両市町が更に強い絆で結ばれるものと期待しております。

さらに、台湾花蓮県瑞穗郷との国際交流について、両町の自然を生かした資源や伝統芸能・文化による交流によって相互訪問を期待しており、本年度は本町から第1回目の公式訪問団を組織して同郷を訪問するための予算を計上いたしております。

○コミュニティスクール 「沼田学園学校運営協議会」

地域住民が学校運営に参画いただけるよう「学校運営協議会」と協働し、地域コミュニティによって開かれた学校づくりに取り組んでまいります。

なお、本年度も継続して「小・中学校グラウンドの美化一斉運動」や「1日防災学校」、「ポスター・標語コンクール」を実施する予定ですが、多くの住民が参画しやすいよう、社会教育事業と連携して

合同で実施するなど、創意工夫を図ってまいります。

○部活動の地域移行と 働き方改革

部活動地域移行推進協議会において、「北空知広域モデル」の構築に向け、今後、指導者の確保や移動（送迎）支援、財源確保などに向けて首長部局や関係機関との協議を進めてまいります。

なお、部活動の地域移行によって教職員の時間外在校時間や業務量の見直しなど、働き方改革についても引き続き推進しながら、効果的な教育活動に繋げるよう職場環境の改善に努めてまいります。

○青少年教育と 豊かな人間性の育成

子どもたちの自己肯定感や協調性、非認知能力といった「生きる力」を育むため、「自然体験キャンプ」や「長靴レンジャー（環境学習プログラム）」に継続して取り組んでまいります。

また、集団生活を通して、協力することの大切さや人を思いやる心を育む機会として、「沼田っ子の夢応援事業」を実施し、地域実践者による「ふるさと学」をプログ

ラムに取り入れ、子どもたちが講話やワークショップを通じて本町の魅力を再発見し、郷土愛に繋がるよう期待するものであります。

○沼田町Two-way留学

昨年度、1家族を受入れ、沼田小学校において短期留学生2名が4週間にわたって学びと交流を深めたところですが、本年度においても積極的に募集PRを行い、沼田町への一時的な移住や二拠点居住を希望する家族の受入れを推進しながら、沼田学園における児童生徒の減少対策と交流活性化を図ってまいります。